

## PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number : 04-338819

(43)Date of publication of application : 26.11.1992

(51)Int.Cl.

G06F 9/06

G06F 1/00

G06F 9/46

(21)Application number : 03-111356

(71)Applicant : NEC SOFTWARE KANSAI LTD

(22)Date of filing : 16.05.1991

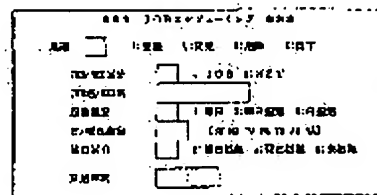
(72)Inventor : YOSHIDA KENJI  
MIZUTANI MASAHIRO

## (54) JOB SIMPLE SCHEDULING METHOD

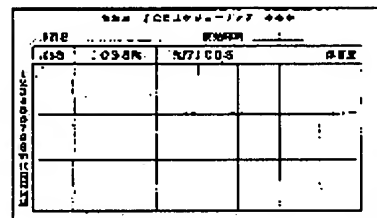
(57)Abstract:

PURPOSE: To shorten the total time required for confirming the jobs which daily differ by designating the starting time and the executing order of jobs at a terminal and therefore omitting the need to recognize the jobs to be carried out by an operator.

CONSTITUTION: In a JOB/NET section the JOB or the NET to be processed is selected, and a processing member name is designated to a schedule file in regard of a JOB/NET name. A fact whether a job should be carried out or not every day or on a specific day of the week, etc., in regard of the start designation. Then a fact whether the job should be carried out or not the precedent day of a holiday if the due executing day is identical with a holiday in a holiday section. Furthermore the stating time is designated for the JOB or the NET in a starting time section. Under such conditions, a JCL is automatically generated so that the JOB is carried out just with extraction of the JCL equivalent to the relevant day out of the schedule file when the JOB is designated. Meanwhile a second screen 2 is displayed with designation of the NET.



(1a)



(1b)

## LEGAL STATUS

[Date of request for examination]

[Date of sending the examiner's decision of rejection]

[Kind of final disposal of application other than the examiner's decision of rejection or application converted registration]

[Date of final disposal for application]

[Patent number]

[Date of registration]

[Number of appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of requesting appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of extinction of right]

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開平4-338819

(43) 公開日 平成4年(1992)11月26日

(51) Int.Cl. <sup>5</sup>		識別記号	庁内整理番号	F I	技術表示箇所
G 0 6 F	9/06	4 1 0 B	8944-5B		
	1/00	3 7 0 A	7927-5B		
	9/06	4 1 0 K	8944-5B		
	9/46	3 4 0 A	8120-5B		

審査請求 未請求 請求項の数 1 (全 5 頁)

(21) 出願番号 特願平3-111356

(22) 出願日 平成3年(1991)5月16日

(71) 出願人 390001395

関西日本電気ソフトウェア株式会社  
大阪府大阪市中央区城見1丁目4番24号

(72) 発明者 吉田 健治

大阪府大阪市中央区城見一丁目4番24号関  
西日本電気ソフトウェア株式会社内

(72) 発明者 水谷 昌弘

大阪府大阪市中央区城見一丁目4番24号関  
西日本電気ソフトウェア株式会社内

(74) 代理人 弁理士 内原 晋

(54) 【発明の名称】 J O B 簡易スケジューリング方法

(57) 【要約】 (修正有)

【構成】 端末上でJ O Bの起動時刻及び実行順序を指定し、J C L (J O B制御言語) を生成する。図示例においては、登録はスケジュールファイルに登録し、変更はスケジュールファイルを変更し、削除はスケジュールファイルを削除し、終了はこのJ O Bスケジューリングを終了することを意味し、その1を選択する。J O B / N E T 区分では、J O Bとして処理するか、N E Tとして処理するかを選択する。J O B / N E T名では、スケジュールファイルに対して処理するメンバ名を指定する。起動指定では、毎日、特定の曜日、特定の日に実行するかを指定する。

【効果】 端末上にJ O Bの起動時刻及び実行順序を指定する事によってオペレータが実行するJ O Bを認識する必要がなくなるので、日によって異なるJ O Bの確認に要する総時間を短縮する事ができる。また、J C Lをエディタで作成する必要がないので、J C L作成時間をなくす事ができる。

\*\*\* J O Bスケジューリング \*\*\*

処理 ☐ 1:登録 U:変更 D:削除 E:終了

J O B / N E T 区分 ☐ J: J O B N: N E T

J O B名 / N E T名

起動指定 ☐ 1:毎日 2:曜日指定 3:日指定

日/曜日指定 ☐ [S M T W T F S S]

休日区分 ☐ 0:平日処理 A:翌日処理 E:未処理

開始時刻

(a)

\*\*\* J O Bスケジューリング \*\*\*

J O B名 開始時刻

J O B名	J O B名	先行J O B名	保留度
1			
2			
3			
4			
5			
6			
7			
8			
9			
10			
11			
12			
13			
14			
15			

(b)

## 【特許請求の範囲】

【請求項1】 JOBのスケジューリングにおいて、端末上でJOBの起動時刻および実行順序を指定し、前記に従ってJCLを生成することを特徴とするJOB簡易スケジューリング方法。

## 【発明の詳細な説明】

## 【0001】

【産業上の利用分野】 本発明はJOB簡易スケジューリング方法に関する。

## 【0002】

【従来の技術】 従来、JOB（業務の実行単位）のスケジューリングは机上で作成した業務の流れ図を元に、JOBの起動時刻及び実行順序を考慮しながらエディタでJCL（JOB制御言語）を作成していた。

## 【0003】

【発明が解決しようとする課題】 従来のJOBのスケジューリングは業務の流れ図を元にJOBの起動時刻及び実行順序を考慮しながらエディタでJCLを作成しており、月次処理や20日締め処理等のように日によって実行するJOBが異なる場合には、オペレータが毎日これを認識する必要があった。

## 【0004】

【課題を解決するための手段】 本発明のJOB簡易スケジューリング方法は、JOBのスケジューリングにおいて、端末上でJOBの起動時刻および実行順序を指定し、前記に従ってJCLを生成するようにして実現される。

## 【0005】

【実施例】 以下、本発明について図を参照しながら説明する。

【0006】 図1（a）および（b）は本発明の一実施例を示す説明図である。

【0007】 同図（a）は端末に表示される第一画面1を示す。同図において処理では、登録、変更、削除、終了を選択する。登録はスケジュールファイルに登録し、変更はスケジュールファイルを変更し、削除はスケジュールファイルを削除し、終了はこのJOBスケジューリングを終了する。

【0008】 JOB/NET区分では、JOBとして処理するか、NETとして処理するかを選択する。

【0009】 JOB/NET名では、スケジュールファイルに対して処理するメンバ名を指定する。

【0010】 起動指定では、毎日、特定の曜日、特定の日に実行するかを指定する。

【0011】 休日区分では、実行する日が休日であった時、休日の前日に処理するか、休日の翌日に処理するか、処理しないかを指定する。

【0012】 開始時刻では、JOB又はNETの起動時刻を指定する。

【0013】 以上の指定により、JOB指定の時はスケ

ジュールファイルに対し当日分のJCLを抽出するだけで実行可能となるようにJCLの自動生成処理を行い、NET指定の時は第二画面（図1（b）参照）を表示する。JOBの実行は、朝一番処理において、当日分のJCLをスケジュールファイルから抽出して行う。

【0014】 図1（b）は上記の第二画面2を示す説明図である。第二画面は第1画面のJOB/NET区分でNETを選択した時表示される。

【0015】 NET名及び開始時刻は、第1画面で指定したものが表示される。

【0016】 JOB名は、NETとして組み込むJOBを業務の流れに従って順次指定する。必要であればJOB名称を入力する。

【0017】 先行JOB名では、JOB名で指定したJOBの実行迄に先行ジョブとして実行しておかなければならないJOB名を指定する。

【0018】 保留度は、この先行JOBの数であり、先行JOBが実行された後に0迄1ずつカウントダウンされ、0になった時にJOB名で指定したJOBが実行される。また保留度は先行JOB名の指定時に0から1ずつカウントアップされる。

【0019】 以上の指定により、スケジュールファイルに対し当日分のJCLを抽出するだけで実行可能となるようにJCLの自動生成処理を行う。

【0020】 図2は上記のJOB/NET区分でJOBを選択した場合の例を示す説明図である。JOB名はJOB1であり、毎週金曜日に実行し、処理当日が休日の時には翌日の土曜日に実行するように指定する。そしてJOBの起動時刻を8時に指定する。

【0021】 図3（a）および（b）上記のJOB/NET区分でNETを選択した場合の例を示す説明図である。図3（a）においてNET名はNET1であり、毎月20日に実行し、処理当日が休日の時には前日の19日に実行するように指定する。そしてNETの起動時刻を19時に指定し、第二画面（図3（b）参照）へ移る。

【0022】 次に図3（b）においてJOB名はAAからEE迄を業務の流れに従って順次指定する。JOBの実行順序としては、例えば、BB及びCCは、AAが先行JOBとして実行された後に実行するように指定する。この場合、BB及びCCの保留度は1であり、AAの実行後0にカウントダウンされ、その後にBB及びCCが実行される。

【0023】 尚、設定したスケジュールをプリンタに出力する機能を追加すれば、指定したJOBのスケジュールが明確になる。

## 【0024】

【発明の効果】 以上説明したように本発明は、端末上にJOBの起動時刻及び実行順序を指定する事によってオペレータが実行するJOBを認識する必要がなくなるの

で、日によって異なるJOBの確認に要する総時間を短縮する事が出来る。また、JCLをエディタで作成する必要がないので、JCL作成時間をなくす事が出来る。

【図面の簡単な説明】

【図1】(a)および(b)は本発明の一実施例を示す画面の説明図。

【図2】JOB指定の例を示す画面の説明図。

【図3】(a)および(b)はNET指定の例を示す説明図。

【符号の説明】

- 1 第一画面  
2 第二画面

【図1】

\*\*\* JOBスケジューリング \*\*\*

処理 ☐ I:登録 U:変更 D:削除 E:終了

JOB/NET区分 ☐ J:JOB N:NET

JOB名/NET名

起動指定 ☐ 1:毎日 2:曜日指定 3:日指定

日/曜日指定 ☐ [SU MO TU WE TH FR SA]

休日区分 ☐ B:前日処理 A:翌日処理 X:未処理

開始時刻  :

(a)

\*\*\* JOBスケジューリング \*\*\*

NET名  開始時刻  :

	JOB名	JOB名称	先行JOB名				保留度
1							
2							
3							
4							
5							
6							
7							
8							
9							
10							
11							
12							
13							
14							
15							

(b)

【図2】

*** JOBスケジュールリング ***	
処理	<input type="text" value="I"/> I:登録 U:変更 D:削除 E:終了
JOB/NET区分	<input type="text" value="J"/> J:JOB N:NET
JOB名/NET名	<input type="text" value="JOB1"/>
起動指定	<input type="text" value="2"/> 1:毎日 2:曜日指定 3:日指定
日/曜日指定	<input type="text" value="FR"/> [SU MO TU WE TH FR SA]
休日区分	<input type="text" value="A"/> B:前日処理 A:翌日処理 X:未処理
開始時刻	<input type="text" value="8:00"/>

【図3】

\*\*\* JOBスケジュールリング \*\*\*

処理  I:登録 U:変更 D:削除 E:終了

JOB/NET区分  J:JOB N:NET

JOB名/NET名

起動指定  1:毎日 2:曜日指定 3:日指定

日/曜日指定  [SU MO TU WE TH FR SA]

休日区分  B:前日処理 A:翌日処理 X:未処理

開始時刻

(a)

\*\*\* JOBスケジュールリング \*\*\*

NET名 NET1 開始時刻 19:00

	JOB名	JOB名称	先行JOB名				保留度
1	AA	給与データ抽出	AA				0
2	BB	給与データ編集1	AA				1
3	CC	給与データ編集2	AA				1
4	DD	給与データ併合	BB	CC			2
5	EE	給与明細リスト	DD				1
6							
7							
8							
9							
10							
11							
12							
13							
14							
15							

(b)